

川越市における  
市民と行政の協働に係る調査研究報告書

平成 19 年 9 月

川越市  
市民参加に関する条例検討委員会  
市民参加に関する条例研究会  
協働研究部会



## 目 次

はじめに

I	なぜ協働が必要なのか	
1	本市における市民参加・協働のあゆみ	・・・ 1
2	協働が求められる背景	・・・ 2
	（参考）協働事業の実践例	・・・ 7
II	協働とは	
1	協働の定義及び目的	・・・ 12
2	協働の主体	・・・ 13
3	協働事業の形態	・・・ 14
4	協働による効果	・・・ 17
5	協働が適している事業	・・・ 18
III	協働の現状	
1	本市における協働の現状	・・・ 20
2	全国市町村における協働の取組状況	・・・ 24
IV	協働を推進する上での課題	・・・ 26
V	今後の進め方について	・・・ 30

協働研究部会の活動状況及び委員名簿

## はじめに

本市における市民参加は、環境やまちづくりの分野を中心に積極的に行われてきました。特に、本市の景観を代表する歴史的な町並みの整備などは、市民が主体となって取り組み、高い成果を上げています。また、目安箱の設置、市民参画による総合計画や各分野の計画づくり、意見公募手続条例の制定など、市民の皆さんの声を市政に反映するため、その制度の充実と推進に努めています。

一方、市を取り巻く社会環境は大きく変化しています。少子高齢化や地方分権の進展に伴い、地域社会ではさまざまな課題を抱えており、これを解決していくために、改めて、市民参加の必要性を認識し、市民と行政が一体となって取り組んでいくことが求められています。

このような中で、市では、平成18年度からスタートした「第三次川越市総合計画」において、市民と行政が共に力を出し合い協力して諸課題の解決に取り組んでいく「協働によるまちづくり」を計画の柱に位置付け、現在、自治基本条例などの市民参加を進めるための条例検討や協働のしくみづくりを進めているところです。

協働のしくみは、市民の皆さんとともに構築していくものですが、これを効率的に行うためには、事前に課題等の整理を行っておく必要があることから、まず市内において基礎的な研究に取り組んできました。

ここに、協働のしくみづくりに係る研究の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

今後は、この研究結果を参考に、市民の皆さんと協働のあり方や進め方などを検討し、協働を進めるための指針の策定や協働事業の拡大に努めてまいりたいと考えます。